

## 今年の福をもらった「みかんひろい」 三島町スタンプ会主催「三島初市」

三島初市は1月13日、役場前で開かれました。会場には初売りの模擬店が設営され、縁起物の起き上がり小法師、衣料品、食料品などが販売されました。午後には恒例のみかんまきが行われ、来場者は今年の福を求め、みかんをひろいました。三島保育所の子どもたちも参加し、みかんを元気に追いかけてました。



# 国指定重要無形民俗文化財 三島のサイノカミ

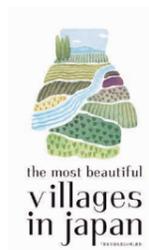
## 「サイノカミ」各地区で実施。 一年の無事願い、力強い炎で厄払い



地区住民の方々が集い、燃え盛る火に一年の無事を願いました  
(写真は大登地区)

### 「三島のサイノカミ」

国の重要無形民俗文化財（平成20年指定）。東北や北陸などに多く残る火祭りの典型例として、古くからの文化を色濃く残している。起源は明らかではないが、貞享2年（1685年）と文化4年（1807年）に会津の民俗について書かれた「風土記」に記録が残っている。「餅や団子を焼いて食べると病気をしない」「炭を顔に付けると厄払いになる」などの習わしが伝えられ、新年に向けて気持ちを新たにす節目の日である。「サイノカミ」のほか、「団子さし」「虫送り」「鳥追い」などの民俗行事は、生活工芸や会津桐とともに、「日本で最も美しい村」連合加盟の登録資源となっている。



1月15日夜、町内各地区で、国指定重要無形民俗文化財の小正月行事「サイノカミ」が行われました。「サイノカミ」には、家内安全、豊作、健康など、一年の無事を願う厄払いの意味があります。炎が勢いよく燃え上がれば、「今年が良い年になる」といわれています。住民が力を合わせて「サイノカミ」を作り、思いを込めて火を燃やす行事は、欠かすことのできない町の小正月行事として、昔から受け継がれてきました。「サイノカミ」に集まった人々は、その火で餅やスルメを焼いて食べて無病息災や、それぞれの幸せを祈りました。

# 2月

## 目次

- 2 町民記者通信 桧原地区「鳥追い」
- 3 三島のサイノカミ
- 4 町民記者通信
- 5 今年1年の平穏を願ったサイノカミ（桧原地区）/今年も無病息災！宮下地区サイノカミ/家内安全、健康を願った「サイノカミ」/森田家の初田植え（川井地区）/大石田地区第5回新春麻雀大会/川井地区の護持会総会とお日待ち
- 6 TownNews みしまの出来事
- 7 三島町消防団出初式/間方地区の伊豆神社で文化財防火訓練を実施/交通安全合同祈願祭/小正月行事「団子さし」/黛まどかさんが流し雛の和紙寄贈/町民スキー教室開催
- 8
- 9 町民アンケート結果報告
- 10
- 11
- 12 申告相談
- 13 各種お知らせ
- 14 みんなの公民館
- 15 町史
- 16 民話
- 17 診療日記/地域おこし協力隊紹介/お知らせ
- 18 山で生きる/町長日記



# 今年1年の豊作を願い 桧原地区「鳥追い」

文・写真 町民記者 佐々木 邦雄さん（桧原）



害鳥を追い払う意味を持つ絵を描いた旗を手に持ち、集落内を歩きました

桧原地区の伝統行事「鳥追い」は1月14日夜、例年になく雪の少ない開催となりました。少子化が進む中で、町では桧原地区だけが伝統行事「鳥追い」を受け継いでいます。片山敏幸区長の挨拶には始まり、地区の子どもと大人、また、他地区の子どもたち、町外からの見学者も参加して、総勢65名により、盛大に開催できました。害鳥を追い払う意味を持つ絵を描いた旗を持ち、地区の片山寧々さん（中3）、片山心路さん（中1）、片山千愛さん（小2）が85本の旗に願いを書きいれました。旗を参加者へ配り「鳥追い言葉」を歌いながら、上と下の境まで追って行く行事です。鳥追い終了後、子どもたちにお菓子等が配られ、みんなで伝統行事を楽しみました。



### 福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



サイノカミ



## 森田家の初田植え (川井地区)

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



「初田植え」行事を行った森田勝さん

福島県重要無形民俗文化財指定の川井地区森田家の初田植えが、1月15日に実施され、多くの観光客が見学に訪れました。この午前8時、川井地区で唯一初田植えを継承している森田家当主の勝さんが、下居平の自家水田跡地に姿を現わし、観光客にねぎらいの言葉をかけたあと、今年の明けの方に一礼し、持参したモミガラを種まきに模し雪面に播き、その上に稲藁、豆殻、松枝を一括りにした苗をおごそかに植え、さらに一礼してから2本目の苗を植え、無事に12本の苗を植え終えて豊作を祈願、大切な小正月の予祝行事を終了しました。首都圏から見学に来られた、歴史、民俗研究者から、とても厳かで風土性のある行事との絶賛の声をいただきました。森田家ではこのあと団子さしと道具の年取りなども行われ、また地区では例年通り国指定の民俗行事サイの神を、浅雪の小正月でしたが実施しました。

## 大石田地区 第5回新春麻雀大会

文・写真 町民記者 中 兵一郎さん (大石田)



参加者全員で記念写真を撮りました

1月24日、大石田地区の第5回新春麻雀大会が行われました。今回も全員大石田地区の人で24名、6卓で1回戦1時間の3回戦で行われました。最高齢は81歳から36歳の年齢幅があり午前9時から午後1時半までの4時間30分をチョンボあり、悔しがったり、元気な掛け声、笑い声ありの楽しい時間を過ごしました。成績は次の通りです。▶優勝 渡部重記さん▶2位 五十嵐和家さん▶3位 五十嵐清人さん▶B/B 飯塚勲さん  
来年(平成29年)も第6回を行いましょと約束しお開きとしました。

## 川井地区の護持会総会とお日待ち

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)



松音寺護持会総会とお日待ちの行事が行われました

1月7日、川井地区で松音寺護持会総会とお日待ちの行事が行われました。お日待ちは午前10時から、川井、大登地区の檀信徒が菩提寺の川井松音寺に集まり、たがいに新年をことぶいた後、住職より大般若経の輪読と法話をうけ祈禱札と特大の紅白饅頭の護符をいただきました。その後、同寺で護持会総会が盛大におこなわれ、今年の寺行事や予算の審議などが了承されました。住職や役員から2月実施の団子まき、涅槃会の日取りなどのお知らせを聞いたあと散会しました。

## 今年1年の平穏を願ったサイノカミ (桧原地区)

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん(桧原)



桧原地区で行われたサイノカミ

桧原地区のサイノカミは1月15日、春日神社前で行われました。前夜に行われたオンベ切りには10名の参加者により実施しました。習字の紙は毎年、海老名俊雄さんより頂き完成しました。当日、午後1時より約10mの杉の木を切り出し、17名の参加者により、立派なサイノカミが出来上がりました。午後7時より海老名英機 区長代理の挨拶後、厄年の方々により点火され、燃え盛る火に良い年を願い、オンベに火がついたときには、大きな歓声が上りました。厄年の方々により、みかんとお金が撒かれ、又、お神酒が振る舞われ、餅やスルメを焼き、今年1年の無病息災と五穀豊穡を祈りました。

## 今年も無病息災! 宮下地区サイノカミ

文・写真 町民記者 小島 純さん(宮下)



宮下地区で行われたサイノカミ

伝統行事サイノカミは1月15日、町内各地区で行われ、宮下地区では三島神社境内において行われました。午後6時半に点火されました。集まった住民は、燃え上がる炎に今年1年の無病息災を祈りました。会場内では、甘酒、御神酒などが振る舞われ、皆和やかに親睦を深め、小正月行事を楽しんでいました。

## 家内安全、健康を願ったサイノカミ

文・写真 町民記者 本名与四郎さん(西方)



勢いよく天空に向かって燃え上がるサイノカミ (西方巢郷地区)

1月15日、午前9時より西方巢郷地区において「サイノカミ」の準備が行われました。今年は、例年になく積雪が少なく開催が危ぶまれましたが、前日に降り積もった雪があり、近くの山林からご神木を二礼二拍手一礼を行い、厳かに切り出しました。その後、星幸男さんや小松順太郎さんの指示を受けながら藁、萱や豆殻などをご神木に手際よく巻き付けながら「サイノカミ」の準備をすることができました。夕方、5時30分には、各家庭から三々五々、老若男女が参集し、サイノカミに点火することになりました。今年の恵方の方角は南南東のため、方位を想定して点火し、今年1年の無病息災と五穀豊穡を祈りました。また、巢郷地区以外の他地区でも赤々と燃え上がる炎が星空の燦々と輝く夜空に舞い上がっていました。



ミズノキに団子や飾りをつけました

## みんなの願いを込めて 小正月行事「団子さし」

1月14日、三島保育所で「団子さし」が行われました。三島老人クラブ女性部の方々が講師となり、子どもたちは団子の丸め方や団子さしの意味について学び、お遊戯広場に置かれたミズノキに団子をさしました。団子作りは保育所の子どもたち全員で行いました。また、当日は保育所入所前の子どもたちを対象とした「ワンダークラブ」でも団子さしが行われ、保護者と一緒に団子さしを体験しました。



今年1年の無火災・無災害を祈願しました

## 今年の無火災・無災害を祈願 三島町消防団出初式

三島町消防団出初式は1月6日に行われ、消防団本部幹部・宮下班・各班長、消防署、警察署、保育所の子どもたちによる幼年消防クラブ、小学校少年消防クラブ、議会議員などが参加しました。宮下町内をパレードした後、三島神社に参拝し無火災を祈願しました。消防団各班では地区内の消火栓の点検や消防ポンプによる放水などが行われました。



黛まどかさんより雛流しに使用する人形の和紙が矢澤町長へ手渡されました

## 和紙に願いを込め 黛まどかさんが流し雛の和紙寄贈

1月14日、町長室において、俳人の黛まどかさんから矢澤町長へ年中行事「雛流し」の人形に使用する和紙が寄贈されました。「雛流し」は三島の年中行事のひとつとして、県指定重要無形民俗文化財に指定されています。「雛流し」は雛人形を家族の女性の数だけ、和紙や千代紙などで作り、各家庭で作られた雛人形は3月4日まで飾り、4日の午後各戸の雛人形を集め、子どもの無事成長を祈願し、只見川に流す行事です。この貴重な年中行事をいつまでも継承し続けることが、この贈られた和紙に込められています。



放水訓練を実施する消防団員

## 財産を守るために！ 間方地区の伊豆神社で文化財防火訓練を実施

文化財防火訓練は1月24日、間方地区の伊豆神社で行われ、三島町消防団、会津坂下消防署三島出張所、三島駐在所、および浅岐・間方地区住民の方々約50人が訓練に参加しました。伊豆神社から火災が発生したという状況を想定し、通報訓練、放水訓練などが行われました。その後、消火器を使用した初期消火訓練などが行われ、消火器の使用方法を確認しました。



スキー教室で元気に滑る子どもたち

## 町民スキー教室開催！ 町営スキー場は土・日・祝日営業

町営スキー場では子どもたちがスキーやそり滑りを楽しんでいます。1月30日に町民スキー教室が行われました。子ども・大人あわせて27名が参加し、三島スキークラブの皆さんが指導にあたりました。町営スキー場は誰でも無料で利用することが出来ます。その貸し出しも行っており、小さいお子さんも自由に遊ぶことが出来ます。スキー場の営業は3月6日まで、土・日・祝日となります。



玉ぐしをささげる諏訪義幸交通安全協会三島分会長

## 交通安全を祈り玉ぐしをささげる 交通安全合同祈願祭

交通安全合同祈願祭は1月27日、三島神社で行われました。諏訪義幸交通安全協会三島分会長、小松けい子交通安全母の会会長などが玉ぐしをささげました。1月末日現在、町内の交通死亡事故ゼロが2,346日間継続しています。今の季節は雪もあり危険な時期です。交通マナーを守り安全運転を心掛けてください。

## 人口問題について

人口問題に対する考えについてお聞きしました。

### (7) 国立社会保障・人口問題研究所の推計結果の認知

「知っている」50.8% (404名) 「知らなかった」18.7% (149名) 「なんとなく聞いたことがある」25.4% (202名)

### (8) 人口減少に対する考え

「人口減少は望ましくなく、現在より増加するように考えるべき」	24.7% (196名)
「人口減少は望ましくなく、現在程度の人口を維持するように考えるべき」	10.3% (82名)
「人口減少はやむを得ないが、できるだけ減少に歯止めをかけるべき」	40.1% (319名)
「人口減少はやむを得ない」	18.4% (146名)

### (9) 人口減少の進行に対する不安(※上位順: 3つまで選択)

①年金の減額、社会保障料や医療費の増額に伴う社会保障に係る個人負担の増加	487件	⑥地域の伝統行事や文化の衰退もしくは喪失	162件
②地域を支える担い手の不足による地域活力の低下	483件	⑦人口減少に伴う消費の減少等による「にぎわい」の喪失	116件
③過疎化の進行による土地の荒廃	302件	⑧スポーツ、文化、娯楽等の余暇を楽しむ機会の減少	39件
④国や地方の税収減に伴う行政サービスの低下	251件	⑨それほど影響はない	14件
⑤労働力人口の減少による地域産業の衰退	182件		

### (10) 人口減少対策として、三島町が今後取り組むべきこと(※上位順: 3つまで選択)

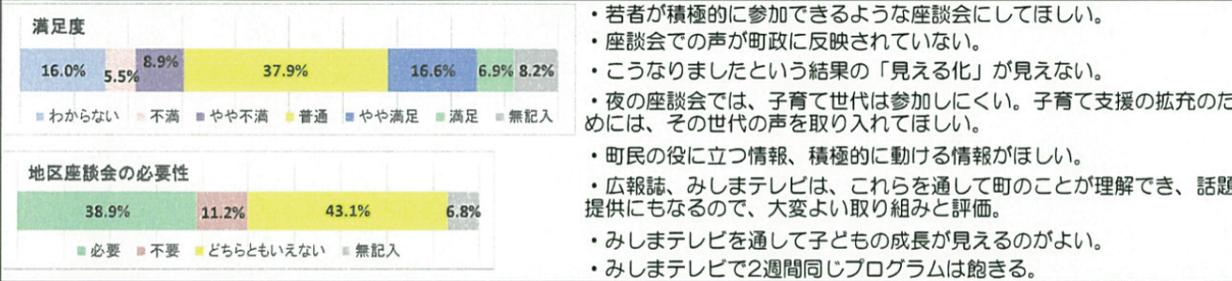
①産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組み	385件
②道路環境や除雪など生活基盤の充実により、安心して暮らせる地域を目指す取組み	350件
③子育て支援や仕事と生活の両立等の充実により、結婚・出産・子育ての希望を叶える取組み	325件
④介護や認知症予防など高齢者等への福祉の充実により、安心して暮らせる地域を目指す取組み	311件
⑤転出等に伴う社会減を減少させるための、Uターン・Iターンなど移住・定住の取組み	284件
⑥農山村の魅力づくりや観光資源のPRなど交流人口の増加に繋げる取組み	152件
⑦地域を担う子どもの教育環境の整備とふるさとを慕う気持ちの醸成を目指す取組み	132件

## 町の施策について

町の施策に対する満足度(評価)等についてお聞きしました。

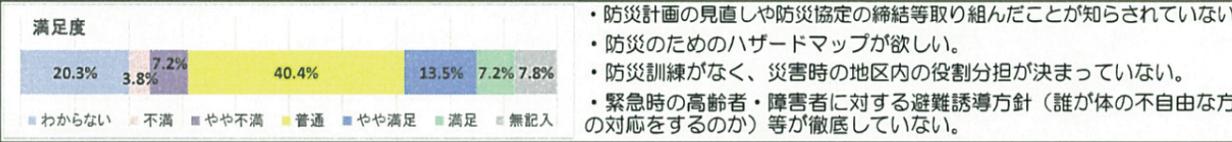
### 施策1 町民参加のシステムづくり

・地区座談会の開催、広報誌等による住民周知、みしまテレビの充実



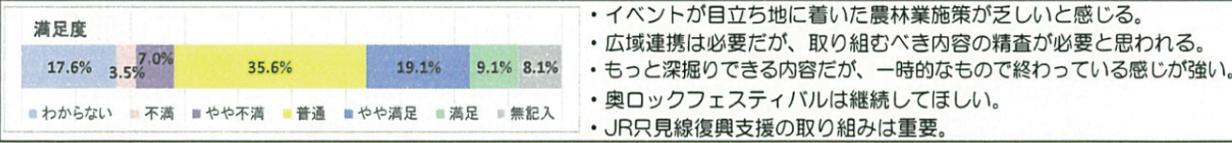
### 施策2 危機管理体制の強化

・防災計画の見直しと町民への普及、他市町村等との防災協定締結等



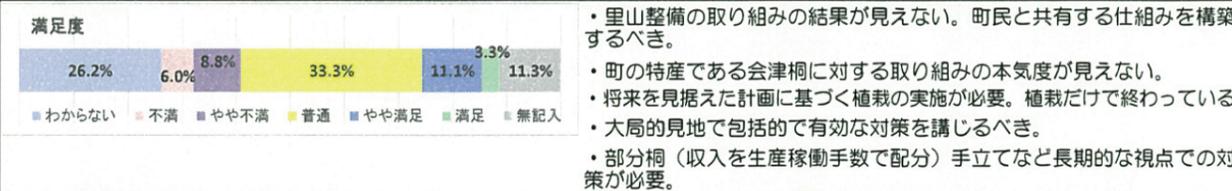
### 施策3 広域連携の推進

・隣接町村等との広域連携による取組みの推進



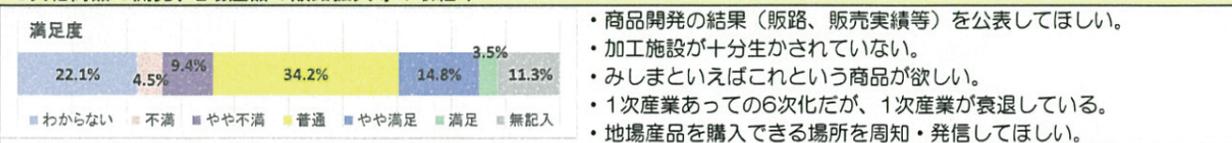
### 施策4 里山整備

・会津桐の植栽、生産、加工、販売の推進やふくしま森林再生事業(境界明確化、間伐、作業道整備)等の取組み



### 施策5 農商工連携(6次化産業)

・6次化商品の開発、地場産品の販路拡大等の取組み



## 三島町町民アンケート結果報告

(問い合わせ先) 地域政策課

本アンケート調査は、振興計画後期基本計画及び地方版総合戦略の策定にあたり、過去5年間の町の施策や人口減少に関する町民の皆さまの意識や意見を把握し、計画に反映させていくための基礎資料とするため実施しました。多岐にわたる多くの質問、短い期間の調査にも関わらず、多くの町民の皆さまから御回答いただきました。御協力いただき、ありがとうございました。御回答いただいた内容及び意見については、町民の皆さまの貴重な声として、御参考にさせていただきます。

●調査期間: 平成27年11月9日~11月16日

●調査方法: 郵送による送付回収

●調査対象: 三島町に住民登録されている18歳以上の全町民(1,590名)

●有効回答数: 795件(回答率50.0%)

## 回答者の属性について

御回答者の性別や年齢等についてお聞きしました。

### (1) 性別

男性 341名 女性 425名 未記入 29名

### (2) 年齢

20代	28名	60代	199名	未記入等	65名
30代	45名	70代	155名		
40代	57名	80代	142名	※60代以上	
50代	87名	90代	17名	513名(64.5%)	

### (3) 居住年数

・1年未満	0.9% (7名)
・1年以上5年未満	4.8% (38名)
・5年以上10年未満	1.7% (14名)
・10年以上20年未満	5.3% (42名)
・20年以上	84.0% (668名)
・未記入	3.3% (26名)

### (4) 同居家族構成

・単身	14.6% (116名)
・夫婦のみ	26.4% (210名)
・親子	36.9% (293名)
・三世以上	14.6% (116名)
・その他、未記入	7.5% (60名)

### (5) 養育中の子どもの有無

・いる	17.1% (136名)
・いない	72.1% (573名)
・未記入	10.8% (86名)

### (6) 同居家族の65歳以上の高齢者の有無

・いる	57.5% (457名)
・いない	37.7% (300名)
・未記入	4.8% (38名)

### (7) 三島町に住むことになった理由

・生まれた時から	51.8% (412名)
・結婚	29.1% (231名)
・就職、転職、転勤	6.2% (49名)
・住宅の都合	2.0% (16名)
・退職	1.5% (12名)
・周囲の環境	1.3% (10名)
・子供の進学、家族からの独立	0.6% (5名)
・その他、未記入	7.5% (60名)

### (8) 通勤・通学先

・三島町内(自営業含む)	28.6% (227名)
・会津地域(三島町以外)	13.6% (108名)
・福島県内外(会津地域以外)	1.0% (8名)
・通勤・通学していない(無職含む)	32.4% (258名)
・その他、未記入	24.4% (194名)

## 三島町の現状について

三島町の魅力と住みやすさについてお聞きしました。

### (1) 三島町の自慢(※多い順: 3つまで選択)

・編み細工などの伝統工芸技術	502件	・会津桐や会津地鶏などの個性ある農林水産物等の特産品	230件
・山や川、温泉が身近にある自然環境や観光資源	492件	・地域住民のつながりや観光客等のおもてなしの心	132件
・地域に根付く生活文化や伝統行事	415件	・その他	26件

### (2) 魅力と競争力がある観光資源(※上位14: 3つまで選択)

①ふるさと会津工人まつり	407件	⑧大林ふるさとの山(カタクリ・さくらまつり)	100件
②奥会津編み細工	335件	⑨美坂高原	86件
③早戸温泉	208件	⑩三島町産会津桐及び桐製品	75件
④JR只見線第一只見川橋梁ビューポイント	152件	⑪志津倉山(ブナ林)	71件
⑤雪と火のまつり	137件	⑫西隆寺(乙女三十三観音・鬼子母神)	66件
⑥尾瀬街道みしま宿(道の駅)	110件	⑬宮下温泉	55件
⑦サイノカミ(各地区)	107件	⑭生活工芸館	55件

### (3) 三島町の住みやすさ

「住みよい」	10.7% (85名)	「どちらかといえば住みにくい」	17.0% (135名)
「まあまあ住みよい」	33.8% (269名)	「住みにくい」	9.2% (73名)
「どちらともいえない」	23.8% (189名)	「わからない」「未記入」	5.5% (44名)

### (4-1) 住みよい理由(※3つまで選択)

①自然が豊か	255件
②近所付き合いが良い	189件
③医療や福祉体制が充実している	147件
④歴史・文化に愛着がある	53件
⑤町内の移動(公共交通)が便利	40件

### (4-2) 住みにくい理由(※3つまで選択)

①買い物が不便	151件
②魅力的な職場がない	100件
③町外への移動(公共交通)が不便	89件
④町内の移動(公共交通)が不便	60件
⑤繁華街や娯楽施設がない	44件

### (5) 将来の三島町への居住意向

「住み続けたい」	54.0% (429名)	「住み続けたくない」	9.9% (79名)
「進学・就職等で離れるが、いずれ戻りたい」	0.9% (7名)	「わからない」	19.9% (158名)
		「その他」「未記入」	15.3% (122名)

### (6-1) 住み続けたい、戻りたい理由(※3つまで選択)

①住み慣れた土地	350件
②土地や家がある	314件
③自然が豊かで住みよい	128件
④友人・知人がたくさんいる	117件
⑤親や親せきがいる	93件

### (6-2) 住み続けたくない理由(※3つまで選択)

①日常の買い物が不便	52件
②交通が不便	45件
③働く場所が少ない(職場が遠い)	42件
④医療や福祉体制が不十分	20件
⑤付き合い・しがらみが面倒・煩わしい	18件

### 施策13 交通安全・防犯の強化

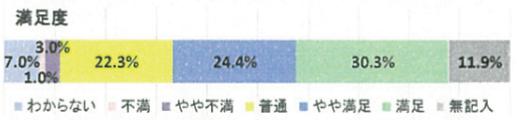
交通安全施設の整備、防犯団体や警察等との連携による防犯活動の実施



- テレビ電話（IP告知端末）による注意喚起は防犯、未然防止に有効。
- ラジオ情報が入りにくいため、防災無線での広報は有意義である。
- 交通死亡事故ゼロ日継続はすばらしい。
- 防犯活動は今以上に力を入れるべき。
- 訓練の継続化・テレビ電話を本当に活用できるまで訓練することが必要。

### 施策14 情報化社会への対応

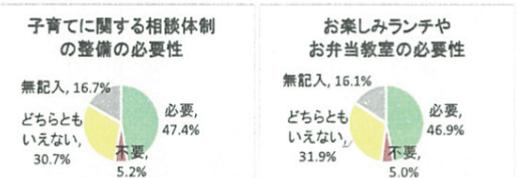
テレビ放送サービスや防災無線端末を利用した情報発信



- 町HPによる情報発信が不十分であり、強化してほしい。
- 休日の対応をマニュアル化してどの職員でも対応できるようにすること。
- みしまテレビは町内の様々活動がわかり楽しい。
- みしまテレビの2週間同じ番組編成を月3回の更新にしてほしい。
- 議会の様子をテレビで放送してほしい。

### 施策15 子育て環境の整備

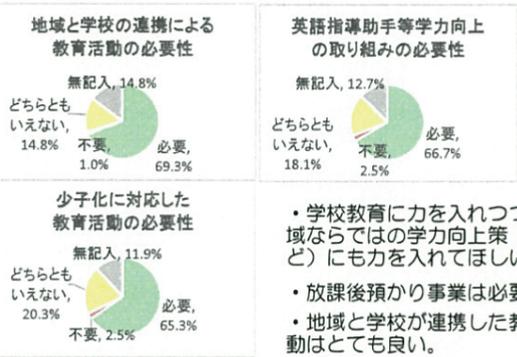
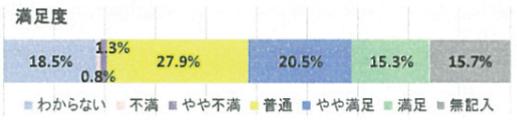
近隣町村との交流推進やお弁当サポート推進事業の取組み



- 完全給食でないことは町での子育てのウィークポイント。
- 町外からきた町民には完全給食でない理由が理解できない。
- 学校給食でないことが若者が定住しない要因の一つ。
- 子どもに給食を食べさせたい。好き嫌いもなくなる。
- 保育士のレベルアップも必要。魅力ある保育所にしてほしい。
- 働くお母さんのための休日の運営も必要。
- 会津若松市等の子供たちの交流もあった方がいい。

### 施策16 教育環境整備（学力向上対策）

学力向上に向けた取組み、少子化に対応した特色ある事業の展開



- 学校教育に力を入れつつ、地域ならではの学力向上策（塾など）にも力を入れてほしい。
- 放課後預かり事業は必要。
- 地域と学校が連携した教育活動はとても良い。

### 人口減少対策やまちづくりに関する御意見について

町民の皆さまからいただいた様々な御意見について、特に多かったものや特徴的なものについて御紹介します。

#### ●就労・雇用の確保に関すること

- 働ける職場づくりが何より重要。
- 農地、山林の自然条件を生かした施策の実施。
- 企業誘致に努めてほしい。

#### ●生活基盤に関すること

- 移動交通手段（タクシー・バス）が少なく不便である。
- デマンドバスは簡単な手配してほしい。

#### ●農林業に関すること

- 会津桐の育て方を真剣に考えるべき。
- 桐の里と言うが、植栽されている場所もわからないのが現状。
- 耕作放棄地の解消をすすめること。

#### ●商業に関すること

- 宮下地区等にスーパーが欲しい。
- 道の駅の利便性・サービス向上を図ってほしい。
- 町内で必要な生活用品が手に入るようにしてほしい。

#### ●観光・6次化に関すること

- 補助金頼みではなく、収益による事業実施へ考えを改めるべき。
- 施設の老朽化への対応、接客対応の向上が必要。
- 宮下駅、只見線がモデルになったアニメの活用をしてみてもどうか。

#### ●生活工芸に関すること

- 山ブドウなど原材料の育成に真剣に取り組むべき。

#### ●まちづくりに関すること

- 若者の意見に耳を傾け、若い人が住みやすいまちづくり。
- 長年住んでいるが、町の良さが見いだせず愛着が薄れている。
- 将来のある世代にひと・もの・かねを集中すべき。
- 近隣市町村等との広域連携による取組みを推進すべき。
- 町全体が閉鎖的であり、新しいものを受け入れる包容力が必要。
- 合併等も考えるべき。
- 何も無いけど魅力があるまちづくり。

#### ●子育て環境に関すること

- 学校給食を完全実施してほしい。
- 小・中学生の放課後の受け皿整備。仕事を持つ親として、転職や条件の良い所へ引越すしかない。
- 不妊治療への助成。
- 保育料無料や土曜日の預かり支援の実施。
- 現役世代の負担を軽減する政策を実施し、子育て環境の整備を図ってほしい。
- 母親が住みたくなる環境整備。

#### ●健康づくりに関すること

- 町内温泉を活用した温水プールによるリハビリ利用など。

#### ●移住・定住に関すること

- 移住者（Uターン・Iターン）対策予算・人員を拡充すべき。
- 都市の若者を里山整備（杉の間伐等）に生かしたらどうか。
- 若者の意見を聞き、若者向けの施設・サービス・イベントを増やすべき。

#### ●居住・空き家に関すること

- 町内高齢者が町外在住の子弟の処に移住し、空き家が増えていく現状に目を向けるべき。
- 空き家の利活用を進めること。

#### ●役場・職員に関すること

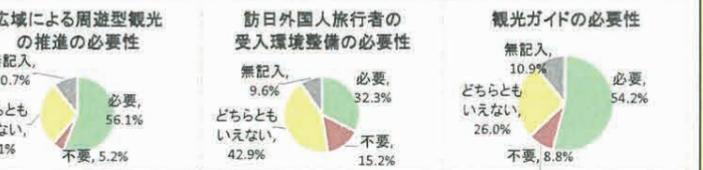
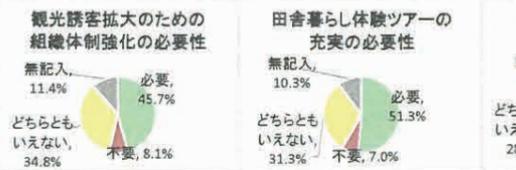
- 自己収入を増やす努力をするべき。
- ふるさと納税を活用すべき。
- 町外通勤者は町内に居住すべき。
- 職員が住民との対話を多く持ち本音を聞くことが重要。
- 職員の質の向上、最低限、他町村や民間並みに。
- 積極的に地域の行事に参加し、地域住民とのコミュニケーションを図ること。
- 今まで以上の働きを職員及び議員に求めたい。
- 役場の対応が悪く、住みたいと思えなくなった。

### 施策6 観光

観光協会の強化、各地区でのモニターツアーの実施などの取組み

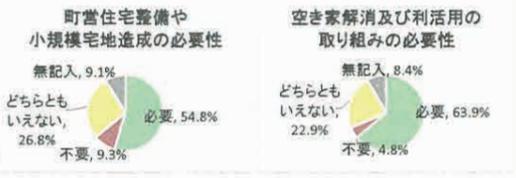


- 体験ツアー実施による移住への効果に疑問。継続は必要。
- 町内観光関係者及び町民との連携による取組みが必要。
- 観光協会のHPは更新頻度も高く、遠方者への情報発信として評価できる。
- からんころんは観光客や地元の人々が気楽に立ち寄れる場所が良い。
- 案内板や対応など外国人観光客に対する受入体制が未整備。



### 施策7 住宅・宅地整備

子育て支援住宅の建設、空き家の利活用と解消の推進



- 子育て支援住宅4棟では少なく、もっと増やしてほしい。
- 子育て支援住宅等は町内の移動ではなく、人口増に繋がる方法を考えるべき。
- 空き家は移住定住推進のため、解体ではなく改修に助成するべき。
- 他町村に比べ、住環境の整備が遅れている。
- Uターン者や三島出身者の帰ってくる場所を考えるべき。

### 施策9 地域資源の発掘

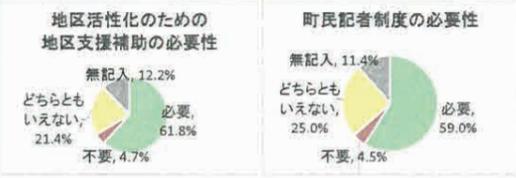
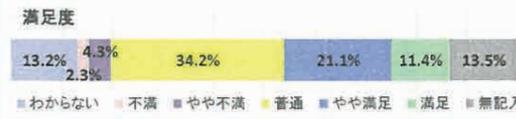
町史編集事業や地区プライド運動の推進



- 少子化で虫供養など継承が困難になっていることが不安。
- 伝統を守り受け継ぐことは大切でありなくてはならない。
- 古文書教室は地元の歴史文化を知る上でとても良い。
- 編み組細工の後継者が少ないのが心配。

### 施策11 地区活動支援

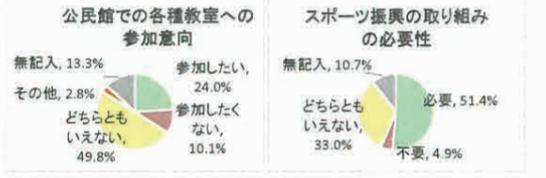
地区担当職員や地区支援事業補助金の活用による地区づくり支援



- 地区担当職員の地域づくりの活動が見えない。
- 地区担当職員は地区住民との話し合いを深めることが重要。
- 町民記者を設置していない地区があるのはどうなのか。
- 地区広報は、他の地区も含め地区の行事が分かってよい。

### 施策8 生涯学習の推進

芸術・文化に触れる機会の充実、文化団体支援の取組み



- 参加者が少ない行事の見直しを図るべき。
- 高齢者も参加したいと思う種目を考えてほしい。
- 広報周知を強化し、参加者が増える努力をすべき。
- 交流の場から活気あるまちが作られるので、様々な教室を考えて続けてほしい。

#### ●交流センター山びこで希望する催し

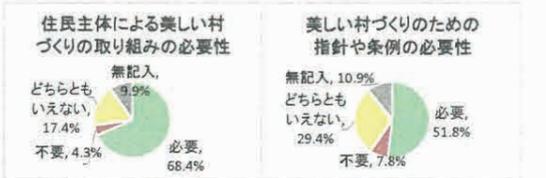
- 書道、絵画、写真等の展示会
- 落語、古典芸能
- コンサート、音楽鑑賞、映画鑑賞、演劇、ミュージカル
- プラネタリウム
- 親子で参加、鑑賞できるもの
- 各地区等の演芸会
- 婚活パーティ
- 貸館 など

#### ●公民館で参加してみたい講座

- ヨガ教室、ストレッチ教室、テレビ体操、ダイエット体操
- ダンス、舞踊
- 語学教室、書道教室、絵画教室、生け花教室
- 60代以上を対象とする運動教室 など

### 施策10 「日本で最も美しい村」連合

地区主体の花植えや清掃運動などの美しい村づくり活動



- 日本で最も美しい村連合のネットワークを生かしたPR効果が分かりづらい。加盟の意義や成果を見えるようにしてほしい。
- 美しい村づくりには、町民自身が主体的に取組む必要がある。
- 登録資源を次世代へ継承できるかが課題。
- 花植え活動は意識変化にも有効。手入れが課題。

### 施策12 災害に備えた体制整備

集会所等の耐震化、防災体制の整備の推進



- ハザードマップの早期作成。
- 各種団体（消防、老人会等）の連携による防災訓練の実施が必要。

## 平成 28 年度 自衛官募集案内

募集種目	資格	受付期間	試験日
予備自衛官補	一般	18歳以上34歳未満の者	①4月11日から19日 ②9月30日から10月3日 いずれか1日を指定します
	技能	18歳以上で国家免許資格等を有する者 (資格により53歳～55歳未満の者)	
幹部候補生	一般	大卒で26歳未満の者(見込み含む) 大学院修士課程修了者で28歳未満の者 (見込み含む)	5月1日まで 1次試験 5月14日・15日 2次試験 6月14日～17日 3次試験 7月予定

※詳しくは下記までお問い合わせください。

☎自衛隊 福島地方協力本部 会津若松出張所(会津若松市門田町大字黒岩字大坪57-1) ☎0242(27)6724

### 消防署からのお願い 消火栓の除雪にご協力を

皆さんの予防消防が被害を防ぎます。屋根からの落雪、雪下ろしもご注意ください。

火災が発生した場合、消火栓が雪に埋まっていたのでは、すぐに消火することができません。近所の消火栓の周りの除雪にご協力ください。また、速やかに避難できるよう逃げ道を確保してください。屋根からの落雪や雪下ろし中の転落など、事故には十分注意して作業してください。

☎会津坂下消防署三島出張所 ☎(52)3032



### 自動車の登録・検査の手続きはお早めに

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中し、窓口や車検場が大変混雑します。名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きは2月中に行うなど、できるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。

☎東北運輸局福島運輸支局 登録・検査関係 福島市吉倉字吉田54 ☎050-5540-2015

### 平成 28 年経済センサス - 活動調査にご協力ください

経済センサス - 活動調査は、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する、日本における唯一の調査で、全国すべての事業所を対象とした重要な統計調査です。調査結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。また、調査の実施に当たっては、毎年回答いただいている、工業統計調査を中止し、経済センサス - 活動調査の対象となる事業者の皆様方の負担軽減を図るとともに、調査を効率的に実施します。

○記入の際は調査票に同封された「調査票の記入のしかた」などを参考にしてください。なお、専用のコールセンターを設けておりますので、不明な点があればお問い合わせください。  
○提出は基本的に郵送提出をお願いします。調査票同封の提出用封筒をご利用ください。(役場へ直接提出も可能です)

○調査書の書き方などのお問い合わせ先  
平成28年経済センサス - 活動調査コールセンター ☎0120(143)150 受付時間(9:00～20:00)  
○その他のお問い合わせ先 役場総務課 ☎(48)5511

月日	対象地区	時間	場所
2月9日④	滝原	9:00～11:00	滝原林業集会所
9日④	早戸	13:30～15:30	早戸生活改善センター
10日⑥	桑原	9:00～11:00	桑原集会所
10日⑥	間方	13:30～15:30	間方集会所
12日⑥	桧原	9:00～15:00	桧原多目的集会所
16日④	小山・高清水	9:00～11:00	高清水集会所
16日④	浅岐	13:30～15:30	浅岐集会所
17日⑥	大登	9:00～15:00	大登生活改善センター
17日⑥	名入	13:30～15:30	名入集会所
18日⑥	西方(1～7組)	9:00～15:00	ふるさとセンター
19日⑥	西方(8～14組)	9:00～15:00	ふるさとセンター
22日⑥	大谷	9:00～15:00	大谷活性化センター
24日⑥	滝谷	9:00～15:00	滝谷集会所
25日⑥	大石田	9:00～15:00	大石田生活改善センター
28日⑥	全地区	9:00～15:00	町民センター ふれあいの間
3月1日④	川井	9:00～15:00	川井集会所
2日④	宮下(宮下・上ノ原・米子沢・青方・建堀) 荒屋敷	9:00～15:00	町民センター ふれあいの間
3日④	宮下(居平・館・水尻・田中・中田・中乙田・下乙田)中平	9:00～15:00	町民センター ふれあいの間
4日⑥	所得税白色申告者	9:00～14:00	町民センター ふれあいの間

※2月28日⑥は平日に勤務されている方など地区の相談会に都合の合わない方を対象とします。※所得税の確定申告は会津若松市の「アピオスペース」でも行います。税務署の職員が相談に応じますので、どうぞご利用ください。場所/アピオスペース(会津若松市インター西90) 期間2月8日⑥～3月15日④(土・日・祝日を除く) 時間/9:00～16:00 ☎会津若松税務署☎0242(27)4311

#### ●申告に必要なもの

- ①印鑑(所得税の確定申告の方は銀行印、金融機関の口座番号が分かるもの)、申告書
- ②収入金額と必要経費が分かるもの
- ③各種控除を証明できるもの
- ④医療費控除を受ける方は、領収書などの金額を「氏名」「医療機関」別に集計してきてください。(※その場で計算を行うと時間がかかり、待ち時間が長くなります)

#### ●申告が不要な方

- ①所得税の確定申告をしている方
- ②公的年金収入だけの方で、65歳未満「70万円以下」65歳以上「120万円以下」の方
- ③公的年金とは厚生年金・国民年金・共済年金・農業者年金などです。年齢は平成27年12月31日が基準となります。
- ③年末調整をした給与以外に収入のない方

# 申告

あなたの税金が社会を支えています

# 相談

#### ●申告が必要な方

- ①農業・営業などの事業収入、地代・家賃などの不動産収入、土地(地上権等を含みます)・建物を売却したことによる譲渡収入などがある方。事前に「収支内訳書」に記載して、申告相談においでください。
- ②給与収入のある方で⑦年末調整を行っていない方④年末調整済みの給与以外からの給与収入が20万円以上ある方⑤勤務先等から役場へ給与支払報告書の提出のない方⑥給与以外の所得がある方(※申告不要の場合もあります)
- ③収入が公的年金のみで、各種控除(社会保険料控除、生命保険料控除など)を受ける方
- ④非課税年金(遺族年金・障害年金)のみ受給している方(※申告していない場合「未申告」となり、国保税、後期高齢者医療保険料などの保険料軽減が受けられないなど、不利益を被ることがありますので、ご注意ください)
- ⑤平成27年中に収入のなかった方
- ⑥親族の申告(年末調整を含む)の中で「扶養控除」の対象になっていない方
- ⑧生命保険の満期、個人年金、内職などについても課税対象となる場合がありますので忘れずに申告してください。

# みんなの公民館

三島町公民館  
☎(48)5599

## ◎ダニエル先生の英会話教室

公民館の英会話教室は1月27日に行われ、15人が参加しました。英語指導手のダニエル・マーカウイツ先生が講師を務め、初めて実施しました。初回は簡単な英語での自己紹介や、英語を習いたい理由などのアンケートを行いました。ま



ダニエル先生に習い、和やかに行われた英会話教室

た、ダニエル先生が故郷カナダの風土や食べ物などについて、写真を見せながら紹介しました。

最近、当町にも外国人観光客が頻りに訪れていることもあり、少しでも英語で案内ができればという思いで参加した方もいました。

今後も継続していきま

係なくどなたでも気軽に参加してください。

## ◎街道交流の復活願い、「海と山の結婚式」

三島町と西会津町を結ぶ「西方街道」の歴史や食文化を調査し、アート作品を作り上げるプロジェクトの発表会は1月30日、西会津国際芸術村で開かれました。県事業「森のはこ舟アートプロジェクト」の一環で、アートのEAT&ART・Tarōさんを中心に両町や近隣の若者たちがプロジェクトチームをつくり実施しました。

古くは日本海と奥会津地域をつなぐ重要な道であった西方街道。プロジェクトチームは昨年5月から、歴史や食文化に詳しい住民からの聞き取りなどを行ってきまし



工夫された料理を味わった発表会

た。西方地区では歴史に詳しい小柴七治さん、麴屋の青木孝子さんなどに話を聞きました。

発表会は「幻のレストラン・海と山の結婚式」と名付けて開催。両町の関係者など約20人が参加しました。両町で親しまれる「えご」や、西方地区を中心に食べられている「ひしお漬け」、さらに「こづゆのちらし寿司&ひつまぶし」などのアレンジ料理が振る舞われました。

## 町史編さん室だより

第1回

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。☎(52)2165

教育委員会では、町民の皆さんの協力のもと、『三島町史』の編さんを行っています。平成28年度には近世（江戸時代）の史料をまとめた資料編の刊行を予定しています。今月から、収集した史料の中で貴重なもの、興味深いものを紹介していきます。

## 寛文六年滝谷組風土記並金山谷寄

会津藩は、寛文4年（1664年）、領内の各組に戸数、人口、牛馬数、年貢高、田畑面積、作付品種、山川、沼、漆、産物などを記録した『会津風土記』の編さんを命じました。今回紹介する『滝谷組風土記』はそのうちの一冊で、近隣の大谷組、大石組、野尻組のものは現在見つかっていません。この風土記には約350年前の村勢が詳細に記されています。会津に残存する寛文年間の風土記は数冊しかなく、近世初期の郷村の実態を知る上で重要な、とても貴重な史料です。

滝谷組というのは現在の滝谷、松原、西方、名入（小山、高清水）、大石田の各地区

と旧西山村（現柳津町）から成る16ヶ村をいいます。タイトルの「並」のあとにある金山谷寄というのは滝谷組、大谷組、大石組、野尻組の記載内容を集計したものです。

表はその中から現三島町5地区の村勢の一部を紹介したものです。（ ）内は各村の端村です。名入村には飯岡があり、かつて飯岡に人が住んでいたことが分か

を米で納める代わりに貨幣で納めていたからです。蠟代は年貢として納めた蠟以外の売上であり、そのほか紙漉きがこの5地区での当時の大きな産業といえます。特に西方村や名入村では盛んに紙漉きを行っていたことが分かります。

なお『滝谷組風土記』は、滝谷組郷頭である山之内吉右衛門により書かれたもので、数年前に滝谷地区の目黒トミエさん宅で発見されました。未公開の文献で、紹介したほかに郷村名の由来、社寺、古城跡、峠、峽などさまざまな記載があり、来年度刊行の『三島町史』資料編に収録される予定です。

## 『滝谷組風土記』に記載された約350年前の村勢

	滝谷村	松原村	西方村 (沼田含む)	大石田村 (中野含む)	名入村 (小山、高清水、飯岡含む)
家数	20	16	63	44	28
戸数 <small>かまど</small> (世帯)	30	23	91	65	38
人数	168	146	426	318	300
男	99	75	190	177	165
女	69	71	236	141	135
馬・牛	10・0	15・0	17・0	12・3	8・0
村高 (石)	158	280	578	441	247
年貢 (両)	22	46	73	45	34
蠟代 (両)	18	40	54	24	50
紙漉き (両)	1	4	30	7	20

## 町民センター図書コーナー ゆめぼけっと Book Review

●利用時間 ①～④ 9:00～21:00 ⑤⑥ 9:00～17:00 ●お休み 年末年始



フランス人は10着しか服を持たない  
ジェニファー・L・スコット 著  
大和書房

高級料理を食べて、たくさん買い物をして、あちこち旅行をしても、心からの満足を感じられないあなたへ。情熱的に、お金をかけずに、生活を楽しむ方法。



わが心のジェニファー  
浅田次郎 著  
小学館

婚約者の求めで日本にやってきた米国人青年。東京、京都、大阪、九州、北海道…。神秘的ニッポンを知る旅を始めた彼を待ち受ける驚きの出来事と、感涙の結末。



マイナンバー制度  
青木丈 監修  
講談社

マイナンバーとは何か。導入によって何が変わるのか。何に使うのか。事業者はどうすればよいか。制度について解説した一冊です。



第59話 弥三郎かが

元話 故 五十嵐 寅 雄さん(大石田)
再話 五十嵐 七 重さん(西方)

むかしなあ、おっかねえ鬼はんばが居ただあ。弥三郎かがって言うだどお。おれらこめらんどぎは、なんでかんで「めげえ」を「とんぼ」さ掛けた。
「めげえ」つうのは「豆通し」つう、農具だヨ。せうがら、「とんぼ」つうのは今で言う「玄関」だが、昔は玄関の入り口に「便所」もあつただヨ…

むがしなあ、弥三郎かがつう鬼はんばくいただどお
ヒユウ〜ツつう吹雪さのつて村々の家のぞつこんで、行くだど
「泣ぐこ いねえが〜」

「きかんぼう いねえが〜」
「言う事かかねえ、やづ いねえがあ〜」

昔の暦の師走八日だ〜(十二月八日 の事) 来んのわな。

「腕 もぐぞお〜 腕 とんぞお〜」つて吹雪さのつて来る山姥だつけど。
ヒユウ〜ツつ ヒユウ〜ツつ ビユウ〜ツつ つつど

「それ 弥三郎かか 来たぞつ。泣ぐなつ泣ぐなつ」つて母ちゃん言うど
「とんぼさ めげえ かげだがら さすけねえ。泣かねえで声たでんなよ」

ばあちゃんそう言つて背中なでてくれたな。
そうすつとおっかねえ気持ち、ちいっとなくなつて妹の手にぎんの。そうすつと、妹もにぎりかえしてエコツ と笑うんだ。

「じいちゃん なんで めげえ かげんの？」つたら
「なんでもなあ、弥三郎かがつうのは人間だつただど」

弥三郎鉄砲ぶちさ行つてなかなか家さもどんなくて心配えで心配えで吹雪ん中さがしさ出だど。頭はボサボサなつて手ぬげえもすつとんちまつて鬼はんば

のようになつて弥三郎さ行きあだつただど。したら弥三郎は母ちゃんだと思わねえで鬼はんばだと思つて母ちゃんの片腕きつちまつただど。んじやがら母ちゃんは人間でなくて 鬼はんばになつちまつただど。んじやがらなあ・

「じいちゃん、んじやがら 鬼はんばど 戦わねえで おとなしくしてんの？」
「んだよ鬼はんばが通りすぎるまで、キットしてんだぞ。弥三郎かがはめげえの穴つぽが千も万もの目玉に見えでな、おっかながって他村さ行くだど」
「ほうら〜また来たぞ！ほうらばあちゃんひざ抱がされ」
「ばあちゃん〜」
「よしよし いい子だ いい子だ、にしゃだれば、良い子だなあ」
師走八日の吹雪さのつて 弥三郎かが 行つちまつたあ〜
行つちまつたあ〜

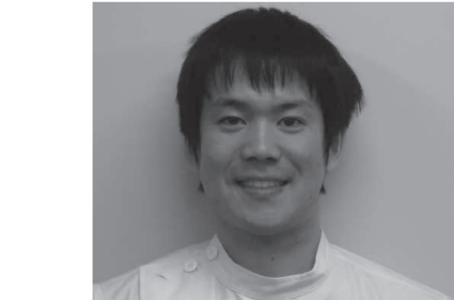
ざつと むかし 終わるんじや

ほめいじば

五十嵐 光 栄さん(滝谷)

床の間のほめいじば

とうざい とうざいと 鳴り物をとめおきまして
そそうなる奴がまかり出で ほめるなどは しゃれたこと
これも 御客様のご愛嬌に あさぎに さつと ほめましよう
お座敷はるかとお眺めれば 唐南天の床柱 牡丹に唐獅子竹に虎
昇り竜には下がり竜 島崎あれば蓬菜山 三方しまだいへ飾られて
尾の井松のその上に 丹頂の鶴が巢をかけて 雄蝶雌蝶が 羽交い並べて舞遊ぶ
下には亀の甲羅干し これを眺める爺と婆 お前百の世 わしや九十九の世
共に白髪の生えるまで こんな目出度いお座敷に 集まる客こそ果報者と
ほ ほ 敬つて申す



診療日記 ~閉塞性動脈硬化症~ 内科 佐藤 悠

歩いていると足が痛む。そう感じることはありませんか？その症状、血管の病気かもしれません。今回は「閉塞性動脈硬化症」という病気のお話です。動脈硬化は全身の血管で進みます。脳の動脈硬化は脳卒中、心臓の動脈硬化は心筋梗塞や狭心症の原因となります。足の動脈硬化が進むと、足先への血流が不足します。血流が悪いと、足に冷たい感じ、しびれ、歩行時の痛みなどが出現します。これが「閉塞性動脈硬化症」です。閉塞性動脈硬化症は適切に治療しないと、5年以内に30%が心血管疾患で亡くなるとも言われています。閉塞性動脈硬化症の診断は痛みもなく数分で終わります。当院でも年に数人の患者さんが、新たに閉塞性動脈硬化症と診断されています。閉塞性動脈硬化症の治療は、生活習慣の是正、薬物治療、カテーテル治療、手術などを組み合わせて行います。また、脳や心臓の血管の検査・治療が必要となる場合もあります。足が痛いのは歳のせい、そう決めつける前にお気軽にご相談ください。

2月の納税

納期限 2月29日

- ▶町県民税(普通徴収) 随時
▶固定資産税 第4期
▶国民健康保険税 第6期
▶介護保険料(普通徴収) 第6期
▶後期高齢者保険料(普通徴収) 第7期

忘れずに納付ください。
役場 町民課

町の人口と世帯

1月1日現在

Table with 4 columns: Category, Value, Change, and another Value. Rows include 人口 (1,765), 出生 (1), 男 (856), 死亡 (1), 女 (909), 転入 (2), 世帯 (789), 転出 (3).

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。



地域おこし協力隊 清水夏穂

1月から協力隊として三島町で生活することになりました。清水夏穂です。出身は神奈川県小田原市です。普段は工芸館で編み組関係の仕事になりますが、町の行事などにも積極的に参加していきたいと思ひます。編み組だけに関わらず、皆さんと色々なお話をしたいので三島町の文化・伝統に一日も早く慣れていきたいと思ひます。雪に関しては初心者ですので、特にアドバイスを頂けたらと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域ふれあいサロン

【浅岐あったかサロン】

日時 2月9日(火) 午前10時から
場所 浅岐集会所

【サロンないり】

日時 2月17日(水) 午前10時から
場所 名入集会所

心配ごと相談

日時 2月18日(木) 午前9時30分から11時30分まで
場所 福寿草

町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

ご寄附

ありがとうございました
町への寄附(ふるさと納税)

(株)ソクラテス 代表取締役 佐藤 保 様(埼玉県さいたま市)
佐藤 保 様(埼玉県さいたま市)

町社会福祉協議会への寄附
ご遺志によるもの

- 金子 喬 様(宮下)
杉本 一郎 様(桧原)
若林 茂 様(浅岐)
小柴 浩 様(名入)
五十嵐 孝 様(大石田)

平成 27 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2015

福島写真美術館プロジェクト

福島環境記録プロジェクト成果展

撮影：赤坂友昭

# 山で生きる

—三島町間方の暮らし—

期間 平成 28 年 2 月 11 日(木)～ 21 日(日)まで  
(午前 9 時～午後 4 時まで 休館日：2 月 15 日(月))

会場 交流センター山びこ 【観覧無料】



お盆の送り火

## 町長日記(不易流行) No. 7

何気ない日常が如何に大切であるかという事が、豪雨災害や震災そして原発事故等の月日が経過すればするほど実感してきます。又、「平凡な事を繰り返す事が、非凡を生む」という言葉があります。退屈なそして単純な日常生活や仕事を反復繰り返す努力が、将来の非凡さを生み出すものであると考えています。この考え方は、まちづくりの基本的な考え方でもあります。

まちづくりの対象は、町民であり我々町職員でもあります。単純な仕事や面白味のない反復の仕事であっても、毎日工夫しながら様々な関連を考えながら努力を継続する力こそ大切であります。工夫や関連性の課題は、自分自身に対する「問」であり、もう 1 人の自分を見つめることの「自分」であります。この様なバランスを心に秘めながら継続する力こそ、非凡を獲得できる職員になると考えています。この様なスタンスでいる事が、すばらしい町を創ることのできる職員になると考えています。

平成 28 年度は地方創生元年であると、新聞等の報道機関各社は様々な角度から取り上げて、市町村の取り組みを煽っている感があります。我が三島町は「自分の足下の泉」をさらに掘り起こし、先人達がやり残した「歴史」に新たな 1 ページを加える事が、私の仕事であり、それが三島の「地域創生」であると考えています。その推進力の核となるのが三島町役場職員であります。

役場一丸となつて頑張りますので、町民の皆様も「職員」を育てて下さいますようお願い致します。

桃太郎の鬼退治の話では、猿や犬やキジをつれて行きました。猿は「知恵」犬は「行動力」キジは「空から全体を俯瞰する」この事が有つて無事鬼退治を成し遂げました。仕事も同じです。職員も仕事の内容によっては、キジや犬や猿にも成ることが必要です。今年も、申年です。日光東照宮の三猿の見やう、聞かざる、言わざるでなく、先ほどの猿の知恵ではないですけど、職員の英知を絞り出し地域創生を町民の皆さんと成し遂げていきます。

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 総務課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎0241 (48) 5511

ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>

印刷 北日本印刷株式会社